

後期学校評価について

2 月に行いました保護者アンケートでは、たくさんの方にご回答していただくとともに、貴重なご意見をいただきありがとうございました。児童及び教職員のアンケート結果や日々の子どもたちの様子を踏まえたうえで本校の課題となる点や向上した点についてご報告いたします。

重要度・実現度 最高 7.0 実現度が 7.0 に近いほど重要であり実現できているといえます

ニーズ度が 25 以上または 25 に近い項目が課題となる点です

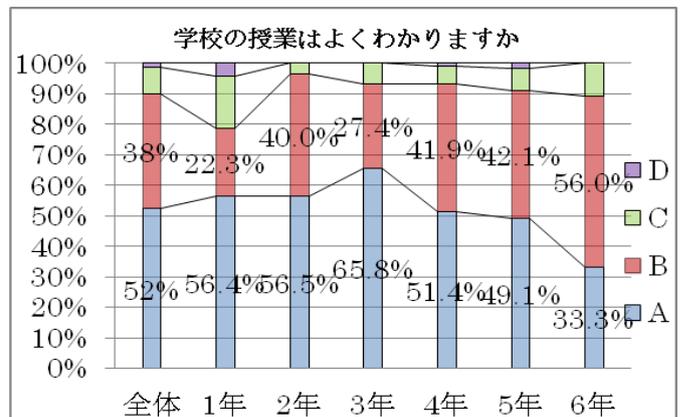
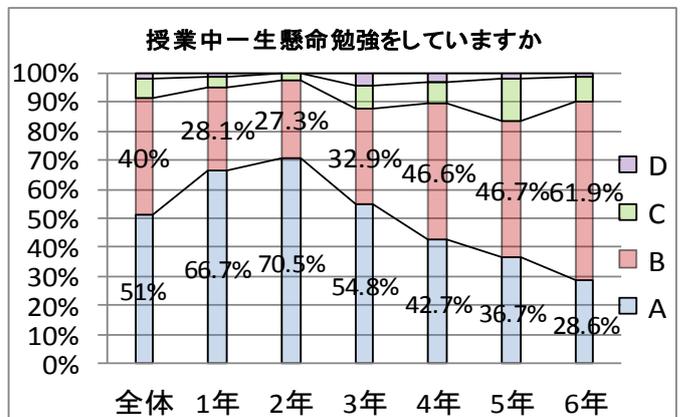
1 保護者アンケート 分析結果

質問文	重要度	実現度	保護者 ニーズ度	教職員評価 ニーズ度
学校が楽しいこと	6.7	5.2	18.8	20.7
正しい姿勢で学習すること	6.5	4.2	24.7	27.5
授業中いっしょうけんめい勉強をすること	6.6	4.7	21.8	27.5
授業の内容を理解すること	6.7	4.5	23.5	24.1
毎日、(15分×学年)以上家庭学習をすること 例)2年生 15分×2=30分 3年生 15分×3=45分	5.9	4	23.6	30.6
読書をすること	6.1	3.6	26.8	21.4
先生の話や友だちの意見をしっかり聞くこと	6.7	4.6	22.8	26.5
相手の気持ちを考えて行動すること	6.7	4.5	23.5	27.3
挨拶をすること(家・地域・学校)	6.7	4.3	24.8	33.1
正しい言葉づかいができること[先生や地域の方と話すとき]	6.5	4.3	24.1	26.9
他の学年の児童といっしょに活動すること(たてわり活動)	6	4.9	18.6	17.6
進んで体を動かしたり、運動したりすること	6.4	4.9	19.8	20.8
早寝・早起きをすること	6.5	4.4	23.4	26.9
時間を決めて、テレビやゲーム・携帯などをすること	6.4	3.5	28.8	34.2
約束やきまりを守り、安全に気をつけて遊ぶこと	6.7	4.7	22.1	26.5
学校の様子が分かること(おたより・ホームページ)	6.1	4.6	20.7	19.4

アンケート結果から

1. 『授業中一生懸命勉強をしていますか』

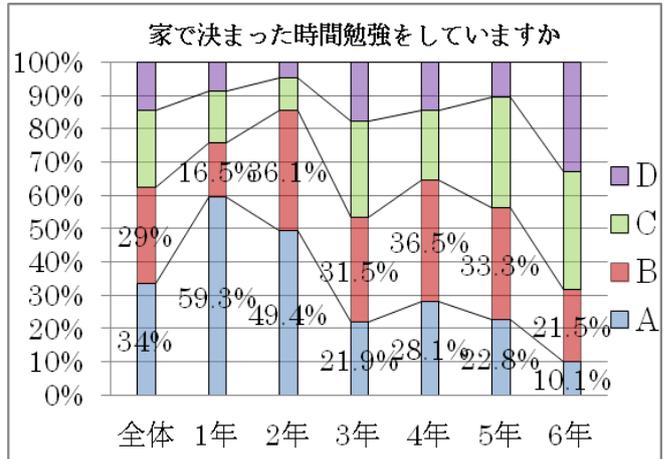
子どもたちの AB 評価をみると 83% から 98% の子どもたちがほぼ一生懸命していると答えています。右のグラフをみると、中学年ぐらいから CD 評価すなわち「あまり一生懸命できていない」「一生懸命できていない」と答えている児童が増えています。中学年といえば社会や理科の教科がはじまり算数や国語の内容も難しくなる時期です。子どもたちが一生懸命学習に臨める授業の条件として、まず大切にしなければならないのは、『分かる』授業であり、子どもたちにとって『分かった』『できた』という達成感のある授業だと思います。『学校の授業はよくわかりますか』という項目をみると、必ずしも一致はしていませんが、やはり 10% ぐらいの子どもたちが CD 評価をしています。一生懸命勉強が十分にできていない理由として勉強がよくわからないということも理由の一つとして考えられると思います。ただ、授業が『分かった』『できた』『楽しかった』感じられるためには、時には、しんどいことを粘り強く頑張らなければならないときもあります。また、基礎的・基本的な知識をつけておくことも必要です。高学年になるほど、授業に向けて、事前



A…よくできている B…だいたいできている
C…あまりできていない D…できていない

の復習や調べておかなければならない勉強も増えてきます。そういう意味では、『授業中一生懸命勉強する』ためには、粘り強く取り組む姿勢やある一定の時間集中して取り組む姿勢が必要になってくると思います。

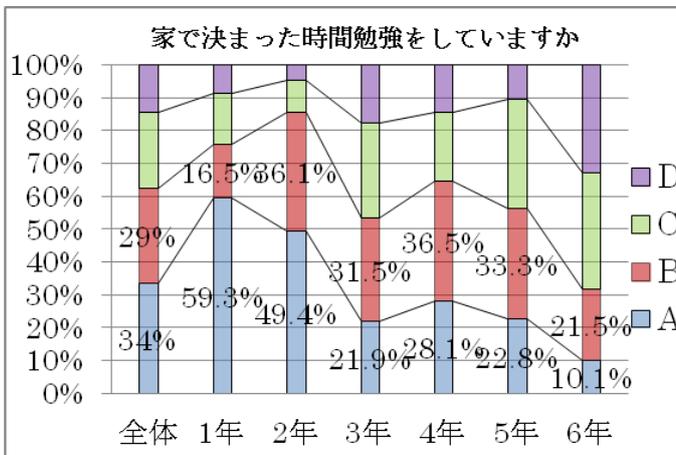
1月に行われた、ジョイントプログラムテストにおいて、6年生は、国語と算数の正答率が京都市の平均を上回っていました。上回った理由として、日々の授業の充実とともに、基礎的・基本的な学習内容を繰り返し練習したことがあげられます。積み重ねを確実に行っていけば必ず力は伸びていきます。ただ、学習したことは復習をしなければ必ず忘れてしまいます。その力を本当に安定した力としていくためには、粘り強く、継続して、取り組むことが必要です。学校だけでなく、家に帰ってから復習をすることが必要です。そうでなければ学習したことは定着せず力となりません。『家で決まった時間(15分×学年)勉強をしていますか』という質問に対しては、AB評価は63%とすいぶん少なくなります。また、学年が上がるにつれAB評価が下がってきます。家庭学習については教職員も子どもたちの力を伸ばしていくために大切な課題であると考えています。次年度に向けて少しずつでも改善できるように学校と家庭が一体となり取り組んでいければと思います。



教職員評価	重要度	実現度	ニーズ度
授業の内容を理解すること	6.7	4.4	24.1
先生の話や友だちの意見をしっかりと聞くこと	6.8	4.1	26.5
家庭学習をすること	6.5	3.3	30.6

2. 『時間を決めて、テレビやゲーム・携帯をしていますか』

7月と比べてみると5年生をのぞきほとんどの学年で、CD評価が増えています。また、グラフからも分かるように、学年が上がるにつれCD評価が増えています。テレビやゲームの使用時間は家庭学習とも大きくかかわっています。4月に行った6年生の



全国学力学習状況調査の質問紙では、平日に3時間以上していると答えている児童が40%近くいました。当然、寝る時刻も遅くなるでしょうし、学習をする時間にも影響してきます。決してテレビやゲーム・携帯をしてはいけないというのではなく使い方を工夫してほしいと思います。家に帰ってからの時間は限られています。まずは学習の時間を下校後の生活の中に位置づけて、残った時間の中でテレビやゲームの時間を自分自身で決めるようにしてほしいと思います。

3. その他の項目

保護者アンケートの結果を見ると、実現度の低い項目として、下記の表の項目があげられますが、7月の調査と比較すると多くの点でA評価は低くなっていました。理由についてははっきりしたことはわかりませんが、年度末ということが、子どもたちの行動や態度・気持ちに影響しているのかもしれませんが、これからの課題として取り組んでいきたいと思います。

児童アンケート A評価のみ	今回 (2月)	前回 (7月)	前回との 比較
学校は楽しいですか	59%	66%	-7
挨拶をすること	48%	56%	-8
正しい姿勢で勉強	16%	26%	-10
すすんで読書	46%	51%	-5
話をしっかりと聞く	49%	59%	-10
早寝・早起き	38%	45%	-7
丁寧に書く	41%	41%	0
約束や決まりを守って遊ぶ	69%	68%	+1

自由記述欄より(※学校全体に関わる内容を掲載します)

- ・今以上に運動を促してほしい。
- ・読書促進をお願いします。
- ・毎日楽しく学校に行けることが大切。
- ・規則正しい生活を心がけるようにしていきたい。
- ・校外学習に出かけた時はもう少しメールで知らせしてほしい。
- ・学校便りをカラーにしてほしい。
- ・アンケートを通して保護者として子どもとの関わり方をふりかえることができました。

A評価したものだけで比較しています。ほとんどの項目が前回より下がっています。